

日本ボストン会会報

発行所 日本ボストン会事務局 〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-17-6 Fax03-3792-6776

日本ボストン会20周年

顧問 吉野 耕一

日本ボストン会が20周年を迎えている。記念行事も色々企画されている。ここでは会の発足を振り返ってみる。

私がボストン日本人会会長を引き継いだ1991(平成3)年正月、副会長だった藤盛紀明氏が突然帰国を表明された。私の突然で無責任な反応は「帰国されたらボストン日本人会の支部のようなものをつくりませんか」だった。藤盛氏が「やってみましょう」と即座に反応されたのが日本ボストン会の始まりだった。

実は岩佐前会長の時ボストンにある日本からの建造物の修理支援を申し込まれたのが、当時の日本人会では何もできなかった事が頭の隅にあったのが、私の突然の反応になったと思える。

当時日本にはハーバード、MIT、エール会(医者)等が長年東京に支部をもっていたが、我々の目指す会は企業を含んだボストンに滞在した方々、ボストンを愛した方々総ての人たちの会として発足を目指して藤盛氏の活動が始まった。私は高エネルギー研究所との共同研究で少なくとも年一回は帰国していたので、多少の支援は出来た。

91年の帰国の際、前記会の代表者との会合を藤盛氏が企画して帝国ホテルに集まったが、当ホテルに診療所を持つ医師(集会場の責任者)の不参加でエール会以外の人たちと話を進めた。92(平成4)年初頭、日本人学校運営委員の土居陽夫氏の帰国で設立準備会の活動が急速に進んだ。

一方、ボストン日本人会役員会では顧問(元会長)の反対が多く審議が進んでいなかった。主な反対理由は募金活動だけで支部を作る必要性だった。

同時に日本側では、ボストン日本人会支部でなく、独立した友好団体としての発足を目指していたので、ボストン日本人会でも特に問題ではなかった。

日本ボストン会設立準備委員会世話人会(米田、藤盛、土居、神部、吉野)の呼びかけで設立準備委員会が1992年10月30日、東京工業大学大岡山キャンパスで55名の参加者で開かれた。「我が国と歴史的にも関係の深いニューイングランド地方との交流を促進し、日米友好の増進に寄与する」事と共に会員相互の親睦を計る目的で日本ボストン会は発足した。

日本ボストン会20周年記念行事(予告)

日時：平成24(2012)年11月10日(土)午後2時~午後7時。

場所：NEC三田ハウス芝クラブ (JR 田町駅、都営地下鉄三田駅下車)
港区芝5-21-7、TEL 03-5443-1400

記念式典：午後2時半開始(予定)、

記念講演：顧問 吉野耕一(初代代表幹事)

記念出版披露：会報掲載寄稿文・合本

「フェノロサ、ビゲロウと三井寺」

山口静一 埼玉大学名誉教授、前名古屋ボストン美術館長。

記念パーティ・総会：午後5時開始(予定)

日本ボストン会の活動はホームページにてご覧下さい。 <http://www.biglobe.ne.jp/~boston/>